

平成19年度「笠原の森」中学校の報告

H19.10 ~ 笠原の森での取り組み

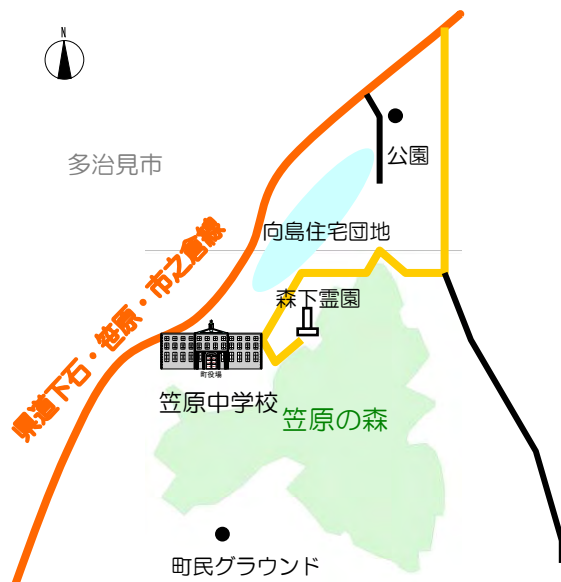


笠原の森（上原・森下地区樹林地）では、平成12年より、笠原中学校を中心として森づくり活動が行われています。

平成19年度より活動に参加する笠原中学校生徒は、新1年生95名で、卒業までの3年間を通して活動を行います。

平成19年10月2日、笠原中学校にて、『笠原の森と自然保護』についての学習会が行われました。また、その後、平成19年10月9日には『笠原の森の植物』についての観察会が行われました。

笠原の森は、笠原中学校の隣に位置します。周辺は住宅地や団地が立地しており、防災上重要であるとともに、住民の環境レクリエーション利用の場としても期待される樹林地でもあります。



学習会

笠原の森と自然保護



学習会では、岐阜県森林組合連合会より講師をお招きして、森の大切さや笠原の森の歴史・これまでの活動内容について、映像を用いてクイズなどを交えながら、楽しく分かりやすい内容にて行われました。

観察会

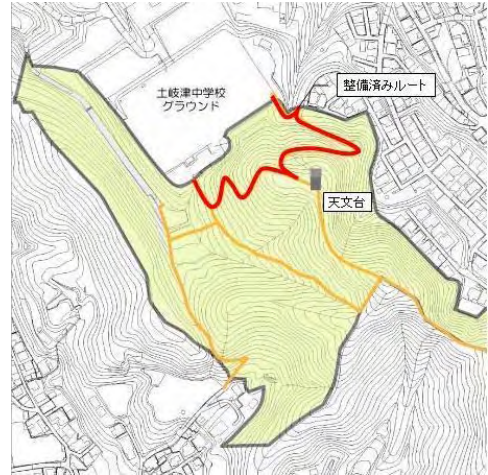
笠原の森の植物



観察会では、自然に親しみ、自然を大切にしようとする意識の向上を目的に、支援者メンバー協力のもと3班に別れ、植物ハンドブックを用いて、葉・幹・実の観察、こすりつけによる樹皮写し、植物クイズが行われました。

平成19年度 「土岐津の森」 中学校の報告

H19.10 ~ 土岐津の森での取り組み



土岐津の森では、平成17年度より土岐津地区で開催された活動に関する準備会などに参加し、平成18年度より土岐津中学校の生徒達による本格的な活動が開始されました。

平成19年度の活動に参加する土岐津中学校生徒は、1年生92名で活動を行います。

平成19年10月19日、土岐津中学校にて、『土岐津の森と自然保護』についての学習会が行われました。

学習会

土岐津の森と自然保護



学習会では、岐阜県森林組合連合会より講師をお招きして、森の大切さや土岐津の森の歴史・これまでの活動内容について、映像を用いてクイズなどを交えながら、楽しく分かりやすい内容にて行われました。

また、講義の後には土石流模型などを用いた実験にて、土砂災害の実演と防災施設および森の樹木の大切さを学びました。

中学校の活動エリアには、貧栄養湿地があり、岐阜県レッドデータブックで準絶滅危惧種の本ザキノミミカキグサが生えています。また、ヒメタイコウチも生息しています。その他トウカイコモウセンゴケのような湿地特有の植物が生えています。



土岐川流域グリーンベルト整備事業は、多治見市・土岐市の緑を対象とし、市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

〒507-0804 岐阜県多治見市坂上町 6-34

TEL : (0572) 25-8024

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>